

会議録

| | |
|---------|---|
| 会議の名称 | 第2回西東京市廃棄物減量等推進審議会 |
| 開催日時 | 平成27年10月14日 午後2時から4時まで |
| 開催場所 | エコプラザ西東京（講座室1・2） |
| 出席者 | 委員：山谷委員、一方井委員、三澤委員、福田委員、池月委員、平山委員、笠原委員、関野委員、草野委員、渡部委員、田中委員、斉藤委員、大沢委員 事務局：松川部長、原島課長、遠藤課長補佐兼ごみ減量係長、藤巻清掃係長、岩崎技能長、磯部技能長、三村技能主任、都築主査、小島主事 |
| 議題 | 議題1 西東京市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況等について 議題2 その他 |
| 会議資料の名称 | 資料1 第1回西東京市廃棄物減量等推進審議会会議録 資料2 一般廃棄物処理基本計画基礎資料 資料3 西東京市一般廃棄物処理基本計画 取組状況 資料4 西東京市ごみ分別辞典 |
| 記録方法 | <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録 |
| 会議内容 | |

- 会長：
 - ・開会の挨拶
- 事務局：
 - ・会議録について説明
(第1回審議会の会議録は承認された。)

議題1 西東京市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について

- ・(資料2) 一般廃棄物処理基本計画の説明
- ・(資料3) 西東京市一般廃棄物処理基本計画 取組状況の説明

- 委員：
 - 一般廃棄物処理基本計画の目標と実績の数値を見て事務局はどのような評価をしているか。

- 事務局：
 - 市民の皆様にご協力いただき、ごみの減量を推進しているが、なかなか数値に表れない厳しい状況である。

- 委員：
 - 人口が増加している中、ごみを減量するのは難しい問題である。

- 委員：
 - 可燃ごみの組成を見てみるとやはり生ごみが大部分を占めているので、今後も生ごみ減量対策を推進してほしい。また、紙ごみについても同じく減量、又は資源化を推進してほしい。

- 委員：
 - 金属・小型家電の回収を始めて不燃ごみの減量にはどのような効果があったか。

- 事務局：
 - 多摩地域の中でも西東京市は不燃ごみの排出量が多いという現状があり、小型家電の回収を始めても明確な変化はみられなかった。今後は、組成分析を行うなどして原因究明にあたっていきたい。

○委員：

他市では硬質プラスチックを可燃ごみにしているが、西東京市でも硬質プラスチックを焼却するようにできないのか。

○事務局：

中間処理施設である柳泉園の問題もあり、現在はできない状況である。

○委員：

熱エネルギーの有効活用についてどのようなことを行っているか。

○事務局：

柳泉園で焼却の際に発生した熱エネルギーを電力会社に供給している。

○事務局：

お金をかければある程度ごみ減量は可能だが、低コストでごみを減らすという考え方でごみ減量を推進していきたい。

○委員：

西東京市で行っている水切り三角コーナーはどのような効果があるか。

○事務局：

156世帯に生ごみ減量モニターの調査にご協力いただいているが、ただいま集計中であり、詳しくは11月1日号のエコ羅針盤で報告する予定である。

○委員：

キエーロは黒土の中に生ごみを埋めると生ごみが消えるというもので非常に効果的な減量方法といえる。今後西東京市でも研究して活かしてほしい。

○事務局：

低コストであれば検討していきたい。

○委員：

高齢者や障害のある方がごみの分別を行いやすくなるような表示や周知等をしていただきたい。

○事務局：ごみの分別辞典というものを10月15日号の広報と一緒に全戸配布しており、分別でなにか解らなければ分別辞典を読んで分別していただきたい。

○委員：今現在の効果的かつ低コストなごみ減量方法として生ごみ減量が考えられるが、長期的なごみ減量方法も考えていかなければならない。

○委員：ごみ減量に関心のある人だけがごみを減らしても限界があるため、これからはごみ減量に関心のない人の、意識を変える方法を考えていかなければならない。

○事務局：環境学習や出前講座などを行い、若い世代のごみ減量の意識を高めていきたい。

○委員：家庭ごみをコンビニ等のごみ箱に捨てられてしまうので、ステッカーなど作っていただきたい。傘も置いていかれ、多量にあるので市の歳入になるのであれば引き取ってほしい。

・○事務局：産業廃棄物になるので、市で引き取ることはできないと思う。

・○委員：古紙の持ち去りについて、西東京市ではGPSを設置するなどの、対策をとっているが効果はあるか。他の自治体で赤い袋を使った古紙の持ち去りの対策があるがそのような対策を講じてはいかがか。

・○事務局：GPSの設置は効果が高い。赤い袋は費用対効果を考え検討していきたい。

・○委員：アルミ缶の持ち去りについても注意していただきたい。

○委員：産業廃棄物処理基本計画を講じているにもかかわらず、まだ市に解り

推進員の報告書は活かしてもらえているか。

○事務局：

貴重な御意見をいただいているので、それぞれの地域を担当している指導員に対応させている。

○委員：

これからは啓発にも限界があるため、分別をしっかりと行うことでなにか報酬を与えるというような制度も検討してはいかがか。

議題2 その他

○事務局：

9月1日、柳泉園のクリーンポートの排ガスから水銀が検出された件について、可燃ごみ中に混入した水銀が原因で、稼働中の1号炉の排ガスから一定基準値を超える水銀濃度が検出されたことにより、同日1号炉は停止した。なお、東京二十三区清掃一部事務組合において、排出された水銀により周辺地域に環境汚染や健康被害を生じることがないと報告しており、柳泉園組合としても同様の見解である。今後の対応として市の分別に従って排出するように、徹底していく方針である。

以上